



【発信日】令和元年7月1日

【問い合わせ先】

大野市教育委員会事務局

文化財課 担当 佐々木、酒井

電話 0779-65-5520

もっと知りたい 大野市の化石からたどる 福井の恐竜時代

～企画展「おおの恐竜発掘－新発見への挑戦－」開催～

大野市博物館では、企画展「おおの恐竜発掘－新発見への挑戦－」を下記のとおり開催します。市民をはじめ、多くの皆さんにご来館いただきたく、事前周知と開催期間中の取材をお願いいたします。

記

- 1 タイトル 企画展「おおの恐竜発掘－新発見への挑戦－」
- 2 内 容 大野市は、福井県で発掘される恐竜の進化と繁栄を解明する上で重要な研究拠点として注目されています。本企画展では、日本最古級のティラノサウルス類化石の発見地である大野市の恐竜化石発見の歴史と最新の調査研究による新発見について紹介します。
- 3 開催場所 和泉郷土資料館（大野市朝日25-7、電話 0779-78-2845）
- 4 開催期間 令和元年7月19日（金）～11月4日（月）
休館日：月曜（祝日の場合はその翌日）、祝日の翌日
- 5 開館時間 平日（土曜日含む） 午前9時～午後4時
日曜日・祝日 午前9時～午後5時
- 6 入館料 大人 200円（団体30名以上 100円）
中学生以下 無料
- 7 協 力 福井県立恐竜博物館、岐阜県博物館、白山恐竜パーク白峰、小松市立博物館、福井市自然史博物館

8 関連イベント

①学芸員によるギャラリートーク

日時：7月30日（火）、8月3日（土）、8月6日（火）、8月10日（土）
午前11時00分～正午

内容：学芸員が展示内容の見どころ、化石の最新情報について解説。

会場：和泉郷土資料館 1階

講師：酒井佑輔（大野市教育委員会 学芸員）

対象：小学生以上

参加料：中学生以下 無料 大人 200円（入館料）

申込方法：申込不要。当日直接会場へお越しください。

②夏休みイベント「発掘！恐竜時代の化石を探そう」

日時：7月27日（土） 午前10時～正午

内容：大野市和泉地区に分布する恐竜時代の地層を観察しながら化石採集を行います。学芸員が地層や化石の特徴について解説します。

集合場所：和泉郷土資料館

行程：施設見学（和泉郷土資料館）、地層観察・化石採集（大野市後野）

講師：酒井佑輔（大野市教育委員会 学芸員）

定員：小学生以上 10名（要予約）

参加料：中学生以下 無料 大人 200円（入館料）

持ち物：雨具、軍手、新聞紙、筆記用具

服装：ハイキングのできる服装

締切：7月19日（金） 定員になり次第、〆切とさせていただきます。

問い合わせ先 大野市教育委員会 文化財課（電話 0779-65-5520）

③化石レプリカづくり

日時：7月28日（日）、7月31日（水）、8月2日（金）、8月4日（日）、
8月7日（水）、8月9日（金）、8月18日（日）、8月21日（水）、
8月23日（金）

午前10時00分～午後3時00分

内容：プラスチック製の粘土「おゆまる」を使った、三葉虫とアンモナイト、恐竜の歯の化石のレプリカづくり体験（約10分）。

会場：和泉郷土資料館 1階

対象：小学生以下（保護者同伴可）

参加料：無料（ただし、大人は入館料一人200円が必要）

申込方法：申込不要。当日直接会場へお越しください。

9 取材について

担当学芸員が対応しますので、事前に連絡を下さいますようお願いいたします。



【発信日】令和元年7月1日

【問い合わせ先】

大野市教育委員会事務局

大野市博物館 担当 佐々木、杉本、田中

電話 0779-65-5520

大野丸、^{おんえき}御益は更に無し

～企画展「藩政改革の光と影」を開催～

大野市博物館では、企画展「藩政改革の光と影」を下記のとおり開催します。

つきましては、市民をはじめ、多くの皆さんにご来館いただきたく、事前周知と開催期間中の取材をお願いいたします。

記

- 1 タイトル 企画展「藩政改革の光と影」
- 2 会 期 令和元年8月10日（土）～11月4日（月）（休館日なし）
開館時間…午前9時～午後4時（日曜・祝日は午後5時まで）
- 3 場 所 大野市歴史博物館
（大野市天神町2-4、電話0779-65-5520）
- 4 内 容 天保13年（1843）大野藩主土井利忠の発した「更始の令」に始まる大野藩の藩政改革の成功面とその裏側のあつれきを、残された資料とパネルで紹介します
- 5 そ の 他 入館料…大人200円、中学生以下無料
8月9日（金）と11月5日（火）は、展示準備・撤収・常設展示復元のため第2展示室のみ開館し、入館料は無料とします
- 6 関連行事 学芸員による展示解説
8月17日（土）、9月21日（土）、10月26日（土）
午後1時30分～2時

- 7 取材について 担当学芸員が対応しますので、事前に連絡を下さいますようお願いいたします。

※展示資料の概要 光

- ・洋式銃砲、西洋流砲術合言葉等西洋流砲術関係資料
- ・利忠のローマ字印
- ・蘭書等の洋学関係資料
- ・大野屋関係資料
- ・蝦夷地開拓資料
- ・大野丸関係資料、大野丸図面
- ・藩校明倫館、洋学館、藩の病院濟生館など上町門周辺の地図
- ・その他、内山隆佐日記等

影

- ・藩に異議を申し立てた小泉佐左衛門関係資料（年譜、断絶録、用留等）
- ・大野丸沈没関係資料（内山良休書簡等）
- ・岡・田村らが提出した藩政に対する言上書関連資料
- ・蝦夷地開拓の断念資料
- ・伊藤慎蔵から藤野昇八郎宛書簡、他

※「更始の令」とは

大野藩では、歴代藩主が藩財政の立て直しを図ってはいたが、なかなか功を奏さず、莫大な借財を抱えていた。天保13年（1843）4月27日、大野藩主土井利忠は直書をもって藩財政立て直しを発した。「藩財政はひっ迫しており、ここまで来たのは我々の責任である。今後は君臣一体となって儉約を旨とし、藩主に対しても気付いたことがあれば、申し出てもらいたい。藩士一同力を合わせねば、藩の存続も危うい」といった内容であった。この日、城内白書院に集められ、この令の読み上げを聞いた家臣一同は感涙にむせんだという。

引き続き、利忠は人材の登用を行い、内山七郎右衛門良休と内山隆佐良隆兄弟を抜擢するなどして、藩政の改革が始まっていった。